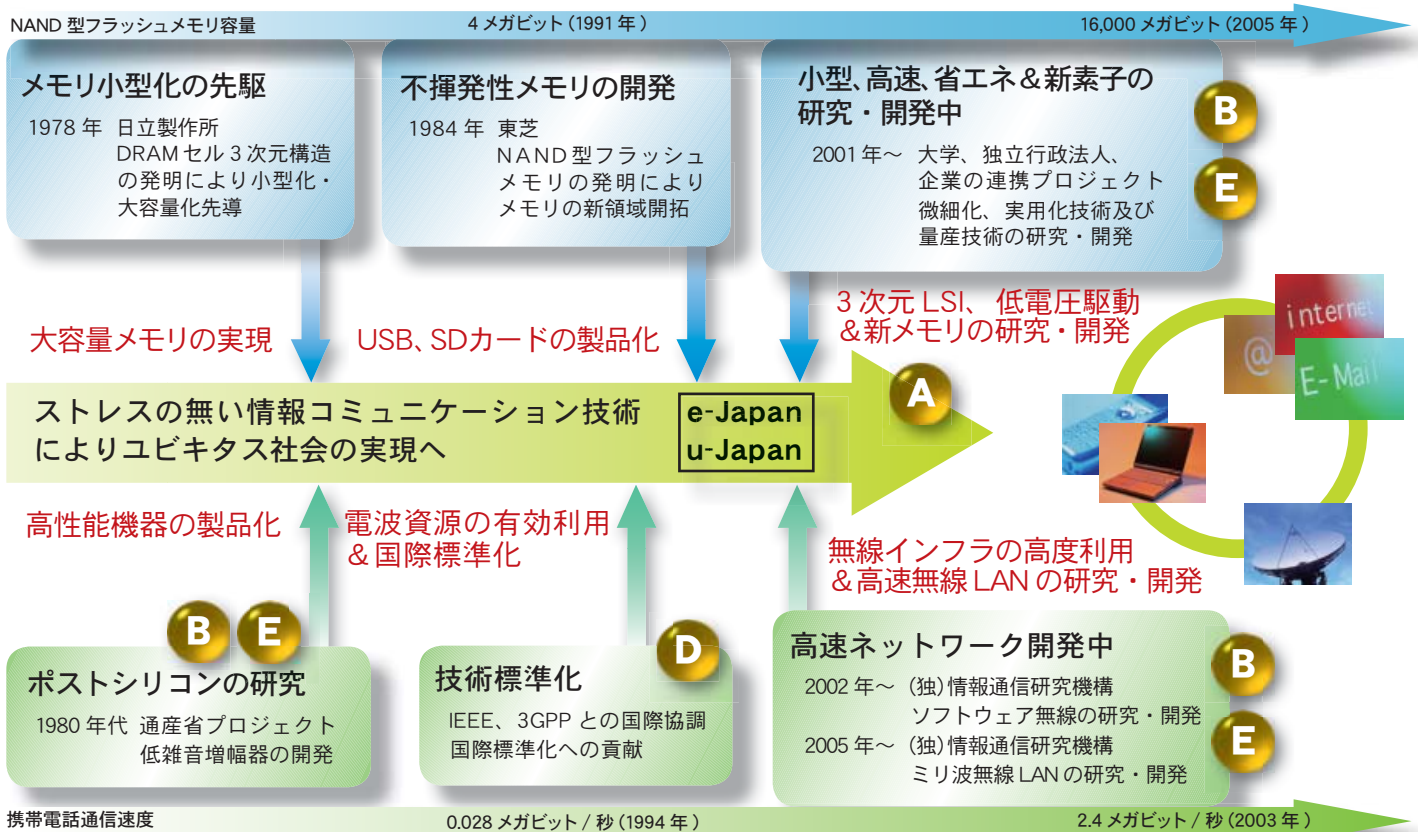


# ユビキタス社会を支えるメモリと高速無線通信ネットワーク

メモリの高密度化や無線通信の高速化により、ユビキタス社会に向けた開発が進展しています。国は、世界標準を見据えた政策・戦略の策定や国家プロジェクトにより、成果実現を支援しています。

## 成果とその経緯

デジタルデータは、画像から動画、音楽へと広がり、個人で扱うデータ量は爆発的に増加しています。また、ネットワークを経由したデータの取り扱いも増加を続けています。メモリの大容量化やネットワーク通信速度の高速化により、膨大なデータを個人が保持し、ネットワークを使って便利に受け渡しができるようになりました。真のユビキタス社会の実現に向け、新たな技術によるメモリの開発や高速無線通信技術の開発が進められており、技術の利用を意識せず誰でも簡単にデータの流通や保持が行えるようになります。



## 主な政府の支援

### 戦略策定と国民へのメッセージ発信 **A**

- ・ e-Japan (2001年～)や u-Japan (2004年～)政策を打ち出し、ユビキタス社会に向けた戦略の見える化を図った

### 長期に渡る研究資金投資 **B**

- ・ メモリ：基礎・応用の両面から研究をサポートし、業界を広く支援した
  - 経済産業省プロジェクト「MIRAI」(386億円：2001～2010年)
- ・ 無線通信：実用性を重視した研究を後押しした
  - 第4世代移動通信システム実現のための研究開発(34億円：2002～2005年)
  - 基幹用ミリ波帯無線伝送システムの実現のための基盤技術の研究開発(18億円：2005～2008年)

### 国際標準との整合性を支援 **D**

- ・ 世界標準(IEEE、3GPP)を見据えた標準化作業を支援するなど、環境整備にも尽力した

### 産業連携の活動拠点を後押し **E**

- ・ メモリ：多数企業参加型の研究組合を後押しし、協働と人的交流を進めた
- ・ 無線通信：実効性の高い産学協同のプロジェクトを推進した

政府支援の分類 **A** ・ 将来戦略の立案・策定 **B** ・ 研究開発への資金投資 **C** ・ 社会制度の策定・整備 **D** ・ 市場・産業の創造・拡大補助 **E** ・ 最先端な連携拠点の形成・活用・維持 **F** ・ 人材の育成・確保・創造